学校番号	207

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	発展世界史	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史（山川出版）						
副教材等	最新世界史図説　タペストリー　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．2 年次に学習した内容の続き（19 世紀のアジア諸地域の動揺）から現代史までを学習します。現代史のうち、「冷戦」と「東アジア・東南アジアの各国の現代史」は世界史演習の方で扱います。
２．近現代について、日本史も踏まえて 19 世紀以降世界の一体化がすすむ中、諸地域の社会や経済の変化について考察します。
３．20 世紀の大戦の要因について深く考察し、民主主義・平和主義の大切さを考えます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　歴史の基本的な用語･概念を理解し､身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
　歴史の中で生きている人間の姿を学ぶことを通して、人間や社会についての省察を深める。
【学びに向かう力、人間性等】
　世界の歴史を地理的条件や日本史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・世界の歴史に関する諸資料､画像などから、有用な情報を選択して、読み取ったり、まとめたりしている。 ・世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	・歴史的事象の考察を通して、様々な事象の因果関係を探求することによって、主体的に思考・判断する力を身につけようとしている。またそれを適切に表現している。 ・社会的事象の歴史的見方・考え方を働かせて、概念などを活用して多面的・多角的に考察することができる。	・歴史的事象を単なる知識としてではなく、人々のいきいきとした営みとして見ている。 ･異文化理解の観点から､日本の歴史や文化との差異、共通点などを追求しようとしている。 ･多面的･多角的な考察や深い理解を通して、世界の諸地域の多様な歴史、文化を尊重しようとすることの大切さについて自覚している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第Ⅲ部 諸地域の結合・変容	・ 西アジアの動揺 ・ 南アジア・東南アジアの動揺 ・ 東アジアの激動	a:ヨーロッパ諸国のアジア進出に対し、アジア各地でナショナリズムの高まりによる諸民族の自立運動がどのように展開したか理解している。 b:ヨーロッパ諸国のアジア進出によって、各地の社会・経済にどのような影響や変化が生じたのか考察している。 c:タンジマートやエジプトの近代化と、明治維新の共通点や相違点について整理し、19 世紀のアジアの民族運動の特徴について探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	提出 ノート/プリント 意見 振り返り 観察
		・ 帝国主義と列強 ・ アジアの民族運動 ・ 第一次世界大戦とロシア革命 ・ ヴェルサイユ体制と欧米諸国 ・ アジアの動向	a:第 2 次産業革命が始まった背景やそれによる独占資本の成長が労働運動や社会主義運動につながっていく過程について理解している。 大きな被害をもたらした第一次世界大戦が起こった背景・経過・結果・影響について理解している。 b:アフリカ・バルカン半島における各国の対立が第一次世界大戦前の国際関係に与えた影響について図や地図を使って考察している。 第一次世界大戦中や終戦後の外交が、当時や現在の国際社会にどのような影響を与えたのか、様々な資料を使って考察している。 c:ウィーン体制やビスマルク体制、ヴェルサイユの特徴をまとめ、19 世紀以降のヨーロッパの国際体制の共通点や相違点について探究しようとしている。			

2 学 期	第Ⅲ部 諸地域の 結合・変容	・ 世界恐慌とファシズム ・ 第二次世界大戦	a: 世界恐慌の原因を多角的に把握し、欧米諸国と日本がどのようにして世界恐慌に対応していったかを理解し、整理している。 大きな被害をもたらした第二次世界大戦が起こった背景・経過・結果・影響について理解している。 b:米英仏の恐慌対策を比較しながら考察している。 日独伊におけるファシズムの動きを比較しながら考察している。 c:朝鮮戦争、インドシナ戦争、ベトナム戦争など、現代の諸問題についてより深く学ぼうとしている。	定期考査	定期考査 レポート	提出 ノート/ プリント 意見 振り返り 観察
	第Ⅳ部 地球世界の 課題	・ 各国の現代史 ・ 第三世界自立の模索 ・ 世界経済の動揺と第三世界の動向 ・ 紛争解決への取り組みと課題 ・ 経済のグローバル化と格差の是正	a: 朝鮮戦争・インドシナ戦争・パレスチナ問題・文化大革命と、イラン=イスラーム革命から湾岸戦争にいたるまでのアメリカとイスラーム地域との対立についての基本的知識を身に着けている。 b:アジアやラテン=アメリカで開発独裁の政権が形成された背景について考察している。 c:、朝鮮戦争・インドシナ戦争・パレスチナ問題・文化大革命と、イラン=イスラーム革命から湾岸戦争にいたるまでのアメリカとイスラーム地域など、現代の諸問題についてより深く学ぼうとしている。	定期考査	定期考査 レポート	提出 ノート/ プリント 意見 振り返り 観察

3 学 期		・　問題演習	a:2 年間学習した世界史の内容について多角的に理解することができている。 b:2 年間学習した世界史の内容について、設問が要求しているポイントを押さえて表現することができている。 c:問題について考察する中で、問われていることがその後の世界や現代にどのような影響を与えているか考察し、追求しようとしている	小テスト	小テスト レポート	提出 ノート/ プリント 意見 振り返り 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度